



各位

2022年5月12日

会社名 TOYO TIRE株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 清水 隆 史  
 (コード番号: 5105 東証プライム)  
 問合せ先 取締役 執行役員 笹 森 建 彦  
 (TEL (072) 789-9100)

## 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2022年2月15日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

(1) 2022年12月期 第2四半期連結業績予想の修正 (2022年1月1日～2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (2022年2月15日発表)	215,700	20,100	20,100	13,300	86.40
今回修正予想 (B)	219,000	26,500	30,000	24,000	155.91
増減額 (B-A)	3,300	6,400	9,900	10,700	—
増減率	1.5%	31.8%	49.3%	80.5%	—
(ご参考) 前年同期実績 (2021年12月期 第2四半期)	186,392	26,958	29,219	20,673	134.30

(2) 2022年12月期 通期連結業績予想の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (2022年2月15日発表)	455,000	44,500	44,600	29,600	192.28
今回修正予想 (B)	485,000	50,000	53,000	38,500	250.10
増減額 (B-A)	30,000	5,500	8,400	8,900	—
増減率	6.6%	12.4%	18.8%	30.1%	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期 通期)	393,647	53,080	55,909	41,350	268.62

### (3) 差異の理由

2022年12月期第2四半期連結業績予想につきましては、原材料価格の高騰、コンテナ不足による海上運賃の値上がり等、足元では厳しい状況が続きましたが、営業利益については、特に北米市場においてタイヤ需要が好調であること、経常利益については、営業利益の上振れに加え、急速な円安進行に伴い為替差益を計上したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益については、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことに伴い特別利益を計上したことにより、前回発表時（2022年2月15日）の予想を修正しております。通期連結業績予想につきましても、最近の業績動向を踏まえ、上記2.の通り前回発表予想から増収増益で修正しております。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	26円00銭	32円00銭	58円00銭
今回修正予想	30円00銭	40円00銭	70円00銭
当期実績			
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	20円00銭	56円00銭	76円00銭

### (2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として捉え、毎期安定した配当を実施してまいりました。今後はこの安定配当の考え方を堅持しつつ、財務健全性も維持した上で業績に連動させた形で株主の皆様のご期待へお応えしてまいります。

中期経営計画「中計'21」の期間中（2021年～2025年）は年度毎の連結配当性向を30%以上の水準とすることを考えておりますが、当期純利益に含まれる非経常的かつ特殊な損益などを調整し、より当社の実力値に近い利益に連動させることで、安定的かつ業績との連動性を持った還元策を実現していきます。

この基本方針のもと、本日公表しました業績予想の修正を勘案した結果、2022年2月15日に公表しました前回予想から第2四半期末配当金を1株につき4円増配し、1株当たり30円00銭とすることといたしました。また、期末配当についても1株につき8円増配し、1株当たり40円00銭とすることといたしました。

（注）上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成していますので、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上